

市民ネットワークちば



湯浅美和子

市民ネットワーク



山田京子

市議会議員

発行責任者 佐々木典子

編集・発行 市民ネットワークちば 〒260-0013 千葉市中央区中央 4-10-11 TEL043-201-2551 FAX043-223-7701

使い方を考えよう 千葉市協働事業提案制度

千葉市・市民自治推進課にお話をうかがいました

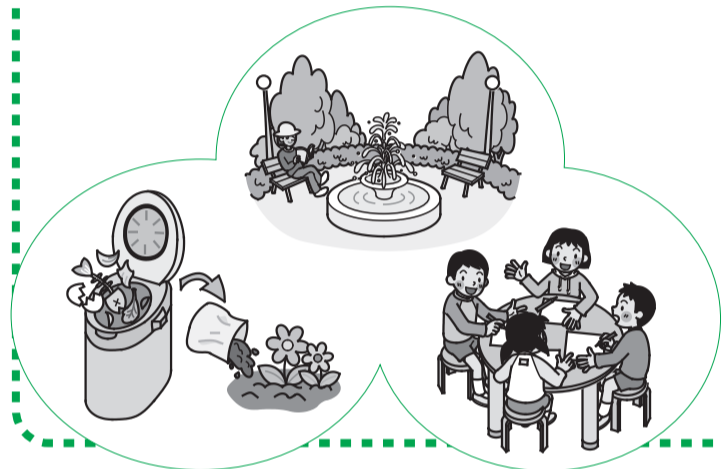
2011年8月に提案の募集が開始され、市民提案型9件、行政提案型5件の応募があった。提案された事業は、事前審査、一次審査、二次審査を経て選考され、2012年2月に開かれる市議会で新年度の予算が承認されると事業の実施となる。

千葉市協働事業提案制度とは

市の事業に対して地域の市民活動団体から事業提案を募り、この事業を市と市民活動団体との協働（役割分担）で実施するというもの。

事業の内容は

テーマやジャンルを問わない「市民提案型協働事業」と市から提示されたテーマにそって提案をする「行政提案型協働事業」とがある。こどもの参画推進、ごみの減量推進、身近な公園の運営・管理の3テーマが提示され、2012年度に事業を実施する。



私たちの声で 市民参加の扉が開いた！

市民ネットワークちばは、市政を他人任せにしない、市民みずからの手ですすめるまちづくりをめざし、政策決定の場である議会に代理人（議員）を送り出し、生活者の視点で大事なことを決めようと訴え続けています。そして、市民が豊かに活動できる社会、「住んでよかった」「このまちに生まれてよかった」と思える住みよい千葉市をつくっていきたいと思います。

2011年度から「千葉市協働事業提案制度」がスタートしました。他の政令指定都市と比較すると遅きに失した感もありますが、市民の手によるまちづくりの第一歩として大いに期待したいところです。

ただ今検討中 「議会のあり方」

2010年度まで開かれた議会改革検討協議会の積み残し部分も含め、選挙後の新メンバーで2011年6月から「議会のあり方検討協議会」が始まりました。

初めに11月までの8回で、千葉市議会として議会の基本理念をまとめました。その次のステップとして、3つの部会に分かれ、

- ①議員の身分に関すること
- ②市民参加の推進に関すること
- ③政策立案・提言、監視・評価に関することを協議しています。

部会は人数も少なく、活発な意見交換が行われていますが、実際に、意見をまとめ上げていくのは至難の業。特に議員報酬や定数の分野に関しては、温度差のある議員同士の意見をどう調整できるのか、議員の見識、リーダーの実力が問われます。ぜひ生の議論を傍聴にいらしてください。

山田京子

お話をうかがってみると、たとえ市民の提案事業であっても予算にはやはり一定の制約もあり、またコスト削減という「行政改革の視点」と「協働の実現」とのバランスをどう考えるか、非常に難しい問題だと感じました。また、今回の募集は一年以上活動実績のある市民活動団体に限られており、個人や企業からの提案を受け入れるまでにはまだまだ時間がかかりそうです。しかし、今回選ばれなかった市民活動団体と今後もつながりを持ってゆくつもりだと聞き、今後の発展が楽しみです。

「みんなの力で支えあうまち」を目指してようやくスタートしたこの制度を「絵に描いた餅」にしないために、市民がこの制度を活用して提案を行うだけでなく、意見を出し合って制度自体をより参加しやすいものに改善し続けていかなければなりません。そのためにも、この制度をより多くの市民に知ってもらえるよう工夫していく必要があります。市の事業を委託事業として市民に開放していくなら、提案を受ける事業の数を増やし具体的な内容を示していくことも必要ではないでしょうか。この機会を十分利用して、「住みつけたいまち」の実現を目指しましょう。

これからの詳しい情報は、市民自治推進課のホームページをご覧ください。 文責 高橋直子

新代表挨拶

昨年引き続き、今年に入ってから「首都圏直下型地震の発生が4年以内70%の確率」、「高齢化スピード世界で突出—2060年高齢者4割社会」等、暗いニュースばかりが目立ちます。それでも私たちは投げやりにならずに、身近な問題に目を向けコツコツと前に進んでいかなければなりません。出生率の低下には子育て支援は急務です。高齢の方たちへの支援もますます必要になってきます。

市民ネットワークちばは、昨年4月の統一地方選挙で代理人を6人から2人と大きく減らし、今年度から代理人のいない中央・稲毛・花見川区ネットは、市民ネットワークちばの事務所に移り、一緒に活動していきます。

皆で力を合わせ、新しい活動をつくることも、昨年度行ってきた、空間放射線量の測定や原発・放射能汚染に関わる学習会なども継続していきたいと思えます。各区の活動も今まで以上に活発になるよう、さらなるご支援・ご協力をお願いいたします。

代表 佐々木典子

